



「道路防災点検結果管理プログラム」および「道路防災点検結果入力ファイル」に関する質疑対応一覧

キーワード	質問の概要	回答の概要	備考
インストール	道路防災点検結果管理プログラムが開けない。 安定度調査表を印刷すると、ラジオボタンがずれる。 チェックシステムでチェックしようとしたが、機能しない。	① Administrator にログインし、実行。 ② Windows と Office のアップデートを実施。 Windows のアップデートは、Internet Explore の「ツール」 「Windows Update」または、「スタート」 → 「すべてのプログラム」 → 「Windows Update」 の順でアップデートします。このとき、同時に Office のアップデートを行ってください。	
管理プログラム (様式のチェック・登録)	インストール後、データベースの保存先を任意フォルダに設定して〔様式チェック/登録〕ボタンを押すと、データベースの接続に失敗しました。がが表示されて、データの読み込みができない。【OS: Windows 7/Office 2010】どのボタンを押しても、同様のエラーが出る。	OS が Windows 7 の場合、登録ファイル選択時に任意のフォルダを選択することはできません。点検様式ファイルを、〔参照〕ボタンを押したときに最初に開かれるフォルダ(プログラムインストールフォルダ)へあらかじめコピーしてから、データベースの登録作業を行ってください。詳しくは、『道路防災点検結果管理プログラム_利用要領』の pp.9～12 を参照してください。	
管理プログラム (入力文字制限)	道路防災点検結果管理プログラムで〔様式チェック/登録〕を実行すると、エラーメッセージが様式に問題はありませんが、データベースへの登録に失敗しました。がが表示される。	自由入力欄(緑色のセル)が、字数制限を超えた時に出るメッセージです。管理プログラム利用要領の巻末資料「データフォーマット仕様」にあるサイズと文字数の関係は、【1 サイズ=0.5 文字】です。 例) 箇所別記録表の所見欄: 505 文字 被災履歴記録表の規模欄と被害欄: 255 文字	
管理プログラム (フォルダの設定)	プログラムは全地連 HP よりダウンロードしたものを使用。 プログラムのインストールは正常終了します。 プログラムの起動後、「データの保存先を設定してください」と表示される。 OK、データ保存先設定のウィンドウが表示される。 OK、フォルダ指定のウィンドウが表示される。 フォルダを指定し OK を押すと以下のエラーメッセージが表示され、先に進めない。 	64bit 版 Windows 環境でのエラーのようです。 もともと、本ソフトは 32bit 版用に関与されたもので、64bit 版の環境には対応していません。 また、今後も 64bit 版への対応の予定はありません。 32bit 版環境での使用をお願いいたします。	
調査結果一覧表	調査結果一覧表(様式-1) を入手したい。	道路防災点検結果管理プログラムで作成することができます。作成方法については、プログラムをダウンロードして解凍し、「利用要領(管理プログラム)」をご一読ください。	
箇所別記録表 (シートの複製)	箇所別記録表のシートを複製したい。	箇所別記録表は施設管理番号と 1:1 で対応しているため、箇所別記録表を複製することはできません。	
箇所別記録表 (バージョン)	Excel 2010 で作業を行うと、「リンクされたイメージを表示できません。…」が表示され、正常に機能しない。 また、Excel 2010 で〔参照〕ボタンにより画像貼付けを行うとリンク貼付けとなり、他の PC で見るとパス名の表示となる。	【道路保全技術センター作成版(Excel 2003 対応版)】を使用したことによるエラーと思われる。 【全地連試行版(Excel 2010 対応版)】を使用して作業してください。 【全地連試行版】のツールであれば、画像のリンク参照ではなく貼付けができるようにしてあります。	
箇所別記録表 (画像の貼付け)	〔参照〕ボタンにより画像を挿入し、保存した。数日後データを開くと貼付けた画像が消えて、「リンクしたイメージを表示できません。ファイルが移動または削除されたか、名前が変更された可能性があります。…」と表示された。画像データは移動していないし、ファイル名も変更していない。	【全地連試行版】のツールであれば、画像のリンク参照ではなく貼付けができるようにしてありますので、このような現象は発生しません。 OS(Windows)のバージョン/Office のバージョン/防災点検結果入力シートのバージョンを確認してください。	
箇所別記録表 (施設管理番号)	施設管理番号で、同じ点検対象項目の整理番号が 999 を超える場合の対処方法を教えてください。	例外的な処置ですが、施設管理番号の 5 桁目にある「点検対象項目のコード」を、A～J 以外のアルファベットに置き換える方法があります(例: T042N001)。 このとき、発注担当と合意の下に決定することは当然です。このほか、その置き換えを将来に伝達するため、関連する帳票類にも明記することが不可欠と考えます。	
箇所別記録表 (検査数字)	管理機関コードの中にある「検査数字」の意味を教えてください。	検査数字については、地方公共団体情報システム機構のホームページを参照してください。	
箇所別記録表 (検査数字)	発注者(県の出先機関)に指示された管理機関コード(6 桁)を入力し、その後〔検査数字〕ボタンを押すと、管理機関コードの 6 桁目に変更された。	『点検要領』(H18 年 9 月)の p.28 にある 4-2-3. 箇所別記録表 (3)管理機関コード 3)上記以外の機関に該当すると思われる。 このようなときは、〔検査数字〕ボタンを使用しないでください。	
箇所別記録表 (点検結果の年度)	右下に入力されている「H8 年度点検結果」と「H18 年度点検結果」の年度を、点検を実施した年度に修正したい。	この数値は、点検の基準に用いた要領の制定年度を意味しています。 H8:平成 8 年度 道路防災総点検要領 H18:平成 18 年度に改訂された点検要領 この旨をご理解いただき、修正することなく、ご使用ください。	
箇所別記録表 (重複点検対象項目)	重複点検対象項目が 4 つ以上該当する場合は、すべてを記入することができない。	重要度の高い上位 3 つを選択して当該欄に記入し、それ以外の重複点検対象項目は所見欄などに記入してください。	
安定度調査表 (ラジオボタン)	ラジオボタンがずれる。 	原因と現象:これは、ActiveX に関連する Excel のバグで、根本的な解決策は今のところないようです。現象としては、編集集中のシートの表示スケールが 100%以外になっていると、印刷プレビューを表示した後再度ホーム(シート)に戻り、ラジオボタンやコマンドボタンを触ったときに、その位置がずれてしまうという現象です。ボタンの機能は正常ですが、ラジオボタンはずれたまま印刷されてしまいます。また、この現象は「もともに戻す」機能は適用されません。したがって、一度ずれると、正常な位置には戻せなくなります。 当面の回避策:①印刷プレビューを表示する前には、必ず「保存」する。②印刷プレビューを表示するときには、ホームの表示の倍率を 100%とする。	
安定度調査表 (シートの複製)	2014 年 11 月から道路保全技術センター作成版を使用しております。 2014 年 12 月 9 日までは問題なく使用しておりましたが、12 月 10 日より下記のような支障が生じました。 支障内容:様式 13、様式 16、現状記録写真のシートを「シート複製」をクリックし複製したところ、シートは複製されたがシート内に「シート複製」、「シート削除」、「すべてクリア」、「参照」が表示されない。 → 複製したシートを削除することができない。 → 写真等を添付できない。 防災カルテも同様です。全地連試行版を使用しても同様な支障が出ました。 12 月 10 日に windows の更新プログラムをインストールしました。これが原因なのでしょうか?	お問い合わせのエラーの件、12/10 の Windows UPDATE が原因のようです。送付いただいたカルテにおいても、こちらの環境で全く同じ現象が出ました。 対処方法としては、以下 2 つがあります。 ①C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\Temp\Excel.0\MSPForms.exd を削除して PC を再起動する。 ②エラー原因となった更新プログラムを削除して PC を再起動する。 ・Office2007 の場合...KB2596927 ・Office2010 の場合...KB2553154 ・Office2013 の場合...KB2726958 ①だけでもエラーが出なくなるとも思います。もし更新プログラムを削除する事で他の機能に対する更新も削除されるのが心配な方は①のみ、逆に該当エラー以外にも 12/10 更新プログラムによる不具合が出ているようであれば①②を実行することでエラーが回避されると思います。 以下は、参考情報です。 今回のエラーの原因となった Windows の更新プログラムは、 https://technet.microsoft.com/library/security/ms14-082 にあるように Office の脆弱性を解決するためのプログラムで、VBA で使用される ActiveX コントロールも更新されているようです。その際、VBA を利用した時に作成される MSPForms.exd がキャッシュに残っていると、ActiveX コントロールが更新されたのにも関わらず古いキャッシュのコントロールデータを読み出すこととする事で、今回のようなエラーが発生したようです。	
現状記録写真 (写真の大量貼付け)	Excel シート(様式-2～16 と現状記録写真)に大量の写真(1 枚ずつであれば添付されているマクロボタンで挿入できるが、写真の量が膨大なため、効率的な方法があれば教えてください。	写真の貼付けを自動的に処理されたい場合は、例えば、別の Excel で画像挿入処理を行う機能(VBA)を作成し、調査表シートに対して貼付け処理を行うなどの方法が考えられます。その際、VBA の処理で保護されているセルに対して何らかのアクションを起こすと、エラーとなります。保護されているセル上に画像を貼付けたい場合は、位置指定によりエラーを回避することができるかと思えます。	
入力シート集 (シートの追加)	点検様式のファイルに、新たな様式のシート(盛土のり面の緊急盛土点検(現地踏査票))を追加したい。	このような追加は、できません。防災点検と緊急盛土点検とは、別の点検です。そのデータを統合(編集や追加)することは、要領(マニュアル)の範囲を超えるデータを作成することになります。様式をユーザーレベルで変更できないようにしている理由は、情報のデータベース化を前提とした情報の正規化と、使い勝手のよいビューを保つためです。	
入力シート集 (シートの追加)	各様式に該当しない資料(例えば過去に収集した実測図)を一連の様式に添付したいが、処置可能な Excel 様式がない(被災履歴記録表の所定の欄にも貼り付けが困難な図)。ついては、白紙のシートを追加できないか。 また、追加したとき、処理後のデータ集計等で支障は生じないか。	白紙のシートを追加する機能は、現在装備していません。 実測図などは、被災履歴記録表や現状記録写真を利用するなどして保存することは、機能的に可能です。貼付けた画像の大きさは、「利用要領」の p.18 にある手順で変更することができます。ただし、貼込みは必要最小限の図面としていただき、必要以上にシートの複製などを利用して貼込むことは、推奨しません。ファイルサイズが大きくなり過ぎることを懸念しています。 関連する図面類が多く存在し、それを保管しておくことが必要な場合は、保管場所(フォルダ)を別途作成していただき、その旨を箇所別記録表の所見欄や添付図面の説明に明記することで、あとで利用できるようにしておくことをお勧めします。 なお、設定機能の範囲内の操作であれば、処理後のデータ集計での支障は生じないと考えます。	
入力シート集 (シートの追加)	点検要領の 5-5-2.箇所別記録表と記入要領(土石流)に記載されている「位置図や一般図を貼付すると図面が小さくなり過ぎる場合は、別業に貼付して、箇所別記録表とともに保管するものとする。」と記載されていたので、新規にエクセルシートで作成したものを箇所別記録表にシートを追加しようとしたところ、ロックがかかっておりロック解除するためのパスワード入力画面が出てきます。パスワードを教えてください。よろしく、お願いします。	定められた様式以外のシートを追加する機能は、備えていません。 位置図や一般図の貼り付けは、次の手順で実施してください。 ① 挿入したい画像のデータを、フォルダ内に作成する。 ② 「被災履歴記録表」(または「現状記録写真」)を表示する。 ③ 帳票にある【参照】ボタンをクリックして、挿入したい画像を選択する。 ④ 挿入した画像の大きさは、画像の隅に表示される「○マーク」をマウスでクリックしたまま動かすことで調整する。 ⑤ 「箇所別記録表」の所見欄などに、その旨を記載する(「被災履歴記録表」などのタイトルは変更できないため)。	

スクリーニングに関する質疑応答一覧

キーワード	質問の概要	回答の概要	備考
岩盤崩壊	『点検要領』 p.14 には、岩盤崩壊の安定度調査箇所の抽出規準として、『岩盤が露出した高さ 15m 以上、かつ傾斜 60° 以上のり面・自然斜面が存在する箇所。』とある。 Q1:完全に岩盤の露出した箇所の高さが 15m 以上必要なのか。 Q2:例えば、のり面工(モルタル吹付工)の高さが 15m あり、その上位に 5m 程度の岩盤が露出している場合は、点検対象となるのか。 Q3:岩盤崩壊として想定している規模(落石の径)は、どの程度を想定すればいいのか。	Q1 について:平成 18 年度改訂の基本的な主旨は、災害の危険箇所を見落とさずに点検することにあります。したがって、危険箇所は高さに関係なく点検する箇所になります。 Q2 について:岩盤崩壊の崖壁の高さは、『点検要領』の p.76 にあります。のり面保護工の有無にかかわらず、岩盤から構成される斜面の遷急線までの高さとなります。 Q3 について:落ちてきた落石、土砂、岩塊により、道路利用者に被害が及ぶ可能性があるものすべてが対象となります。直径数 cm の大きさの落石でもフロントガラスが割れる場合があり、対策が必要となります。 特に岩盤崩壊の場合には、一般に発生源が高い位置にあり、大きな災害に結びつく可能性があります。崩壊のメカニズムや被災形態をよく調査され、どのように崩れてどのように道路に達するのか、想定した結果に対して防災対策が十分かどうかを、ご確認ください。	

防災カルテ点検に関する質疑応答一覧

キーワード	質問の概要	回答の概要	備考
シートの複製	防災カルテの作成において、〔シート複製〕を押すとパスワード(VBA Project)の入力が出てくる。そのようなパスワードを入力すればいいか。	ご使用になっている OS(windows)と Office のバージョンをご確認のうえ、【全地連試行版(Excel 2010 対応版)】を使用して作業してください。	
積算	調査費を見積もる考え方を教えてください。	積算は、《施設管理番号 1 箇所あたり》になります。部分記号を付して安定度調査表を複数枚作成しても、対象にはなりません。これは、道路防災点検も同じです。 「道路防災カルテ点検積算基準」は、以下を参照してください。 設計業務等標準積算基準書/設計業務等標準積算基準書(参考資料) 平成 25 年度版 pp.4-1-9～4-1-11 監修:国土交通省大臣官房技術調査課 発行:経済調査会	